

平成 27 年度

創 薬 科 学 専 攻
(博士後期課程(3年制課程))

第 2 次 学 生 募 集 要 項

金沢大学大学院医薬保健学総合研究科

出願手続から入学までの日程

事 項	日 程
出願資格認定申請期間 (出願資格審査が必要な者)	平成26年11月20日(木)～11月26日(水)
出 願 期 間	平成26年12月15日(月)～12月18日(木)
試 験 期 日	平成27年1月22日(木), 1月23日(金)
合 格 者 発 表	平成27年2月6日(金) 17時頃
入 学 手 続	平成27年3月頃
入 学	平成27年4月

金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 創薬科学専攻(博士後期課程)

I. アドミッション・ポリシー (入学者受入方針)

本課程では、薬学を中核に据えた学問分野(薬学・医学・保健学関連)に関する最先端の知識や技能と高い研究能力の醸成を目的とします。創薬科学における先進的且つ発展的な教育・研究を通して、豊かな創造力、高い見識、卓越した研究企画能力、強いリーダーシップ、さらに国際的競争力を備えた、自立した真の研究者を養成します。具体的には、製薬企業等において新薬開発に関する研究や企画立案に携わる者、大学教員、公的機関での研究者、医療・厚生・薬事・環境等の分野での行政担当者などとして活躍する人材を育成します。将来このような職種での活躍を目指す学生であれば、経験した学問分野を問わずに受け入れます。

入学者選抜の基本方針としては、一定レベル以上の学力(専攻学術および英語)を有し、これまでに行った研究課題に対する理解と熱意、さらに将来、上記の分野で活躍することに強い意欲をもっていることを重視します。選抜は、基礎学力、英語能力、論理的思考力、研究課題の理解力等を総合して判定します。

II. 専攻名および募集人員

創薬科学専攻 若干名(社会人特別入試を含む)

授与する学位 博士(創薬科学)、博士(学術)

III. 選抜の種類

1. 一般入試

2. 社会人特別入試

社会人特別入試は、出願時において、会社等に在職し、入学後も引き続きその身分を有する者で、所属長の受験許可を受けた者が出願してください。

3. 外国人留学生入試

別途、薬学学務係にお問い合わせください。

IV. 出願資格

出願に際しては、あらかじめ志望指導教員と連絡を取ってください。(連絡先は巻末に記載)

次の各号のいずれかに該当(平成27年3月31日までに該当見込みを含む)する者。

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校、上記(3)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者(平成元年文部省告示第118号)
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、平成27年3月31日までに24歳に達する者

出願資格(6), (7), (8)により出願を希望する者については、出願に先立ち資格審査を行います。7ページの「出願資格の審査」を参照してください。

V. 出願に必要な書類

①	入学願書【様式1】	本学所定の用紙 所要事項を記入し、脱帽半身正面向き(背景無地)で、出願前3カ月以内に単身撮影した同一の写真を所定欄(2箇所)に貼り付けてください。 また、必ず②の「入学検定料振込金証明書」を裏面の所定欄に貼付してください。(学内進学者及び国費外国人留学生を除く)
②	入学検定料振込金証明書 <u>学内進学者(平成27年3月に本学の博士前期課程又は修士課程を修了し、引き続き博士課程に進学する者)</u> <u>及び国費外国人留学生は、入学検定料の納入は不要です。</u>	30,000円 納入方法：本要項に添付の振込依頼書に必要事項を記入の上、「電信扱」が利用できる金融機関(ゆうちょ銀行・郵便局を除く)の窓口で納入してください。納入後、銀行領収印が押してあることを確認し「振込金証明書」を願書の裏面の所定欄に貼付してください。「領収書」は、大切に保存してください。 (1) 通常、金融機関の窓口営業時間は午後3時までです。土日・祝日は休業となりますので注意してください。 (2) ATM、携帯電話、パソコン等からは振り込まないでください。

		<p>出願受理後は、いかなる理由があっても、入学検定料は返還しませんので、注意してください。</p> <p>ただし、入学検定料の振込後、出願を取り止めた場合は返還手続きを行うことができますので、下記担当まで連絡してください。</p> <p>なお、返還の際は「領収書(本人控)」及び「振込金証明書(提出用)」が必要になります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>担当：金沢大学財務部財務管理課出納係 〒920-1192 金沢市角間町 電話 (076) 264-5058～5060</p> </div>
③	修了(見込)証明書	<p>出身大学長等が作成したもの。 ※注1 ※注2</p> <p>ただし、出願資格の(6), (7), (8)に該当する者及び本学大学院医薬保健学総合研究科(医学系研究科)創薬科学専攻博士前期課程修了(見込)者は不要です。</p> <p>④の学業成績証明書に修了(見込)が明記してある場合は、本証明書は不要です。</p>
④	学業成績証明書	<p>出身大学長等が作成したもの。 ※注1 ※注2</p> <p>出願資格(8)により出願する者は、最終学歴の学校長等が作成したもの。(修得科目名及び単位数が記載されているもの)</p>
⑤	「修士論文の写し」, 「修士論文の概要/ 研究又は開発業務等の概要 【様式2】」等	<p>修士の学位を有する者は、「修士論文の写し」,「修士論文の概要」,「研究又は開発業務等の概要」のうちいずれか一つを提出してください。</p> <p>修士の学位を有しない者は、「研究又は開発業務等の概要」を提出してください。</p> <p>また、学術論文や研究等に関する発表論文別刷等の資料及び参考となると思われる書類(写し)がある場合は、添付(A4判)してください。</p>
⑥	受験許可書【様式3】 <u>社会人特別入試のみ</u>	<p>所属長(又は指導者)が作成した受験許可書を提出してください。なお、出願時に提出できない場合は、入学時に承諾書等を提出することとなりますが、その場合、薬学学務係へ問い合わせてください。</p>
⑦	教育方法特例適用申請書 【様式4】 <u>社会人特別入試のみ</u>	<p>大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例の適用を希望する者は、提出してください。</p>
⑧	受験票送付用封筒	<p>募集要項に添付の定形封筒に362円切手(速達郵便)を貼付、郵便番号、住所、氏名を明記してください。</p>
⑨	連絡受信先シール	<p>郵便番号、住所、氏名等必要事項を記入してください。(募集要項に添付の用紙)</p>
⑩	その他	<p>日本に在留する外国人志願者は、在留カード(表・裏)写しあるいは外国人登録証明書(表・裏)写し及びパスポートの写し(氏名等本人情報が記載されているページと最新のビザが記載されているページ)を提出してください。</p>

※注1 英語以外の外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳あるいは英訳を添付してください。

※注2 改姓(改名)により、証明書等の氏名が異なっている場合は、変更の事実を証明できるもの(戸籍抄本等)を添付してください。

VI. 「大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例」について

社会人特別入試入学者に対して、大学院での学修を容易とするために「大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例」の制度があります。

参考：大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)[抄]

第14条 大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

VII. 出願期間

平成26年12月15日(月)～12月18日(木) 17時(必着)

ただし、「IV. 出願資格」のうち(6), (7), (8)に該当する者は、この期間に先立ち、11月26日(水)17時(必着)までに申請し、出願資格審査を受けなければなりません。7ページの「出願資格の審査」を参照してください。

VIII. 出願手続き

1. 出願方法及び提出先

志願者は、「V. 出願に必要な書類」を一括して、本学所定の封筒に入れ、出願期間内に到着するよう提出してください。郵送する場合は、書留郵便としてください。

[提出先] 金沢大学薬学学務係
〒920-1192 金沢市角間町 TEL (076)234-6827, 6828

2. 出願及び受験にあたっての注意事項

- ① 出願前に志望指導教員と連絡を取ってください。
- ② すべての書類に記入漏れがないか確認してください。出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあります。
- ③ 出願書類の記載に不正があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- ④ 出願書類受理後は、いかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更及び入学検定料の払い戻しはしません。
- ⑤ 受験に関する注意事項(試験室、試験実施方法等)は受験票とともに送付します。

IX. 入学者選抜の方法

選抜は、「学力検査」及び「学業成績証明書」等を総合的に判断し、判定します。

試験科目	摘 要
英 語	筆記試験を行います。 修士の学位を有する者及び取得見込みの者は免除します。
口述試験	「修士論文」、「研究又は開発業務等の概要」のいずれかについて、口頭発表(20分程度)及び質疑応答を行います。

(注1) 液晶プロジェクターの使用希望者は、「入学願書」【様式1】所定欄の該当区分に○印をつけてください。なお、その他の使用機器を希望する場合は、薬学学務係へ問い合わせてください。

(注2) 本学大学院修了又は修了見込みの者については、別に選考を行います。

X. 試験期日及び場所

期 日	場 所	試験科目	備 考
平成27年1月22日(木) 平成27年1月23日(金)	金沢大学自然科学棟 (角間キャンパス)	英 語	1日目に実施します。
		口述試験	時間等詳細は、受験票を送付する際に通知します。

XI. 合格者発表

平成27年2月6日(金) 17時頃

自然科学本館正面玄関において発表するとともに、合格者へ郵送で通知します。

XII. 入学手続き及び授業料について

2月中旬までに本学から送付する「大学院入学手続要項」によります。

授業料等納付金

①入学料 282,000円(予定)

平成27年3月本学大学院博士前期課程・修士課程修了後、引き続き博士後期課程に進学する者及び国費外国人留学生は、入学料の納入は不要です。

②授業料(前期分) 267,900円(予定)

(注)上記の納付金額は予定額であり、入学時または在学中に入学料・授業料が改定された場合には、改定時から新入学料・新授業料が適用されます。

XIII. 修業年限及び修了の要件

原則として、3年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文を在学期間中に提出して、その審査及び最終試験に合格しなければなりません。

[長期履修制度]

本専攻では、職業を有している等の事情により標準修業年限3年での修了が困難な方を対象として、修業年限を超えて一定の期間(最長6年)にわたり計画的に教育課程を履修し修了することをあらかじめ申請し、その計画的な履修を認定する「長期履修制度」を導入しています。

① 長期履修を申し出ることができる者

次のいずれかに該当する者で、標準修業年限3年内での修学が困難な事情にある者。

- (1) 社会人有職者で、職務上の事情により、著しく学修時間の制約を受ける者
- (2) 育児、介護等に従事している者で、その事情により、著しく学修時間の制約を受ける者

② 長期履修の期間

4年、5年または6年とします。

③ 長期履修が認められた場合の授業料

$(\text{授業料年額} \times 3 \text{年}) \div (\text{長期履修の期間}) = \text{長期履修の場合の年間授業料}$

「長期履修制度」の利用を希望する場合は、「入学願書」【様式1】の所定欄に希望する旨の表示を記入してください。

申請方法等は合格通知とともにお知らせします。申請には志望指導教員の承認が必要です。なお、申請しても許可されない場合もありますので、ご承知おきください。

Ⅳ. その他

1. 個人情報の取り扱いについて

金沢大学では、「国立大学法人金沢大学個人情報管理規程」等を制定し、本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報及び入学手続き時に提出していただく書類に記載されている全ての個人情報は、次の業務で利用します。

- (1) 入学者選抜及び入学手続きに関わる業務
- (2) 入学後の学籍管理、修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務
- (3) 入学金免除、授業料免除、奨学生選考等の修学支援に関わる業務
- (4) 入学金・授業料の納入に関わる業務及び収納業務を委託する金融機関での必要な業務
- (5) 入学者選抜に関する個人が特定できない形で行う調査研究業務
- (6) 修了生に対する学習成果等調査(アウトカムズ・アセスメント)、同窓会活動への支援等に関する業務
- (7) その他、個人が特定できない形で行う統計処理業務

2. 学生募集要項の請求

郵送を希望する場合は、返信用封筒(角形2号、205円切手を貼り、請求者の郵便番号、住所、氏名を明記したもの)を同封の上、薬学学務係へ請求してください。請求する際には、封筒の表に「医薬保健学総合研究科創薬科学専攻(博士後期課程)募集要項請求」と朱書きしてください。

出願資格の審査

出願資格(6), (7), (8)により出願を希望する者については、以下により出願資格の審査を行います。なお、必要がある場合は、面接を行います。

1. 提出書類

書 類 等	摘 要
入学試験出願資格認定申請書【様式Ⅰ】	本研究科所定の用紙を使用してください。
研究業績等調書【様式Ⅱ】	本研究科所定の用紙を使用してください。
最終学歴の卒業証明書又は在学期間証明書	最終学歴の学校長等発行のもの
在職期間又は研究期間証明書	所属長等発行のもの
出願書類等	本要項2ページ「Ⅴ. 出願に必要な書類」の③以外の書類

(注)

- ・英語以外の外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳あるいは英訳を添付してください。
- ・本学薬学部卒業者は、最終学歴の卒業証明書又は在学期間証明書は不要です。
- ・上記のほか、必要により、その他の証明書等の提出を求めることがあります。

2. 提出先

本要項4ページ「Ⅷ. 出願手続き」の「1. 出願方法及び提出先」に同じ。

なお、郵送する場合は、書留郵便とし、その封筒の表に、「医薬保健学総合研究科創薬科学専攻(博士後期課程)出願資格事前審査申請」と朱書してください。

3. 提出期間

平成26年11月26日(水) 17時まで

(注) 郵送する場合も、出願期間の最終日までに必着(前日消印有効)のこと。

4. 結果通知

審査の結果は、平成26年12月15日(月)までに、申請者あて郵便により通知します。

認定された場合は、願書の出願期間(平成26年12月15日(月)～12月18日(木))に新たに出願書類等を提出する必要はありません。

また、認定されなかった場合は、入学検定料を返還します。

創薬科学専攻

(付)各研究分野／指導教員と研究内容

●印は、平成28年3月31日定年退職予定の教員
◎印は、平成29年3月31日定年退職予定の教員

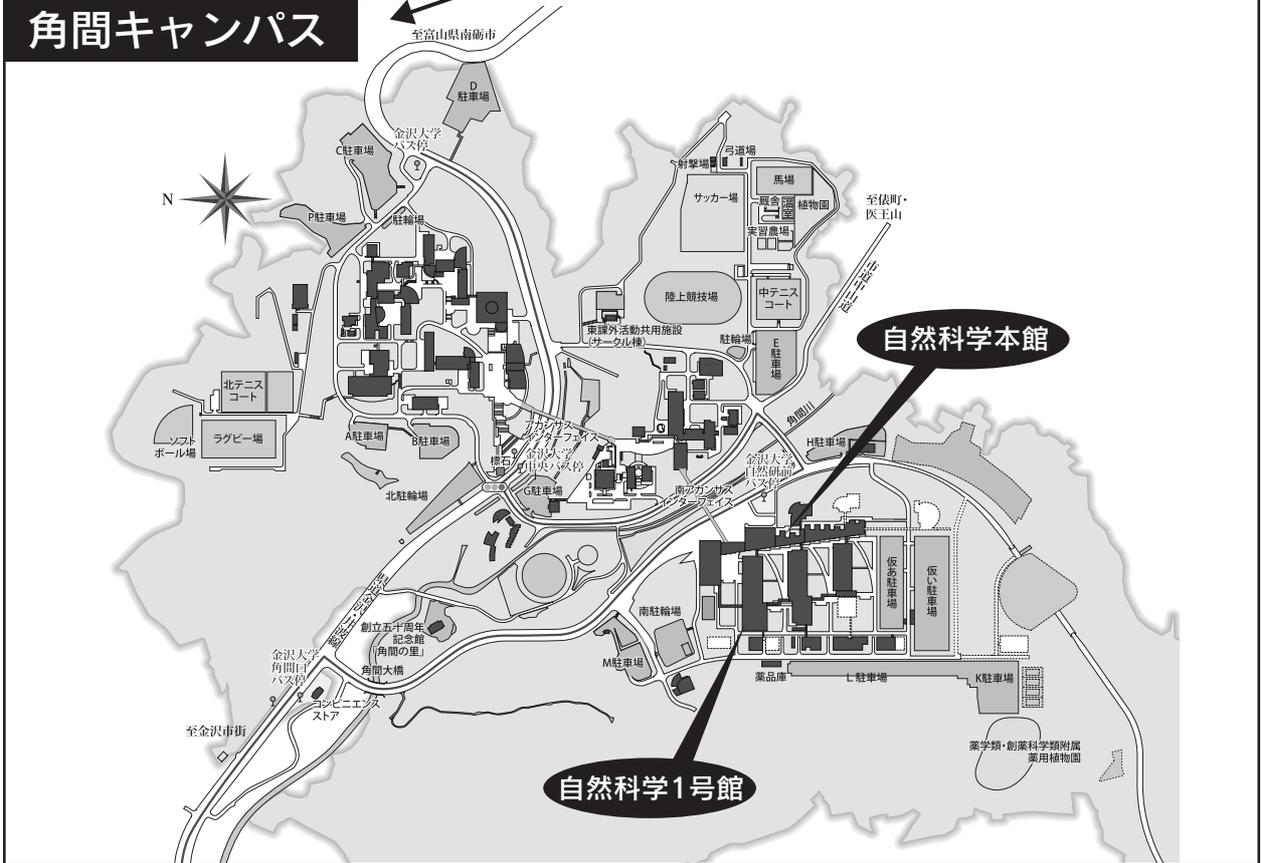
研究室	研究内容	指導教員
衛生化学 TEL:076-234-4413 E-mail: hayakawa@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 有害化学物質の環境内挙動に関する研究 (2) 内分泌攪乱化学物質・発癌物質の生体影響に関する研究 (3) 生活環境物質の分析法と曝露評価に関する研究	●早川 和一 教授 鳥羽 陽 准教授 唐 寧 助教
精密分子構築学 TEL:076-234-4411 E-mail: mukai@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 有機金属化合物を活用する新規反応の開発研究 (2) 生理活性物質及び関連化合物の合成に関する研究 (3) アルキン、アレンの環化反応に関する研究	向 智里 教授 稲垣 冬彦 准教授 安田 茂雄 助教
遺伝情報制御学 TEL:076-234-4487 E-mail: matsukas@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) ゲノム傷害に対する防御応答の分子メカニズムに関する研究 (2) 新規に開発したDNA修復解析系を用いた癌の予防と治療に関する研究 (3) T細胞増殖制御機構に関する研究	松永 司 教授 猪部 学 准教授 若杉 光生 助教
生物有機化学 TEL:076-264-6201 E-mail: kunisima@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 生体機能を利用した有機触媒ならびに有機合成手法の開発 (2) 生体分子の機能解明を志向した化学修飾法の開発 (3) 生命科学への応用を目指した新しい反応や機能性材料の開発	国嶋 崇隆 教授 北村 正典 准教授 山田 耕平 助教
臨床分析科学 TEL:076-234-4459 E-mail: odani@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 新規白金抗がん剤の創薬開発 (2) 薬物のタンパク質結合解明と創薬への応用 (3) がんやその他疾患の診断を目的とする分子イメージング剤の開発研究	小谷 明 教授 小川 数馬 准教授 黄檗 達人 助教
ワクチン・免疫科学 TEL:076-234-4463 E-mail: shigeto@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 自然免疫を賦活化する次世代マラリアワクチンベクターの開発研究 (2) 肝臓特異的遺伝子治療用ベクターの開発研究 (3) マラリア媒介蚊コントロールを評価するためのバイオマーカーの開発研究	吉田 栄人 教授 田村 隆彦 助教 伊従 光洋 助教
機能性分子設計学 TEL:076-234-4439 E-mail: jimatsuo@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 小員環の開裂を利用する新しい有機合成反応の開発とその応用 (2) 生理活性化合物の全合成 (3) 新しい反応活性種に関する研究	松尾 淳一 教授 谷口 剛史 助教
分子生薬学(薬用植物園) (後藤准教授) TEL:076-264-6305 E-mail: kngoto@p.kanazawa-u.ac.jp (佐々木准教授) TEL:076-234-4441 E-mail: sasaki@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 薬理活性天然物の合成ならびに化学的修飾による有効性の向上と作用機序の解明 (2) 熱帯雨林産植物からの新規生理活性分子の探索研究 (3) 生薬の基源、品質、生産に関する研究	後藤(中川)享子 准教授 佐々木陽平 准教授 三宅 克典 助教 斎藤 洋平 助教

研究室	研究内容	指導教員
活性相関物理化学 TEL:076-234-4485 E-mail:oda@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) コンピュータを利用した創薬手法の開発およびその応用 (2) 計算化学手法による生体分子の静的・動的構造の解明 (3) 芳香族有機化合物の光反応・ラジカル反応の機構解明と反応性制御	小田 彰史 准教授 福吉 修一 助教
薬物学 TEL:076-234-4472 E-mail:hinoi@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 神経性アミノ酸シグナリングに関する分子薬理学研究 (2) 神経系および非神経系細胞内シグナル伝達分子に関する研究 (3) 神経系および骨関節系疾患の分子病態解明と治療戦略に関する研究	檜井 栄一 准教授 寶田 剛志 助教
山下研究グループ TEL:076-264-6270 E-mail:katsumi@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) リン酸化・脱リン酸化による細胞周期制御 (2) 細胞周期制御因子の安定性制御機構	山下 克美 准教授
内山研究グループ TEL:076-234-4428 E-mail:uchiyama@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 環境調和型合成反応の開発 (2) 生物活性を有する天然物の合成に関する研究	内山 正彦 准教授
生体防御応答学 TEL:076-234-4481 E-mail:nakanaka@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 貪食による変性自己細胞除去の仕組みと意義に関する研究 (2) 自然免疫による感染症防止の仕組みに関する研究 (3) 宿主と微生物の相互作用に関する研究	中西 義信 教授 平山(白土)明子 准教授
国際保健薬学 TEL:076-234-4402 E-mail:kimurak@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 医薬品の普及、品質及び適正使用の国際的な確保に関する研究 (2) カウンターフィット薬に関する研究 (3) HIV/AIDS対策及び医療システムに関する研究	◎木村 和子 教授 坪井 宏仁 准教授 吉田 直子 助教
薬物動態学 TEL:076-234-4479 E-mail:tamai@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 創薬のための薬物および生理活性物質の生体膜輸送メカニズムとその制御 (2) 輸送体を利用した薬物の組織・がん選択的デリバリーと吸収促進に関する研究 (3) 生体機能イメージングによる薬物の体内物流・細胞内動態可視化解析	玉井 郁巳 教授 中西 猛夫 准教授 小森 久和 助教
分子薬物治療学 TEL:076-234-4465 E-mail:ykato@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 薬の効果・副作用と薬物分子認識とを統合する定量速度論的研究 (2) 生体膜薬物透過機構の細胞特異性と薬物治療に及ぼす影響に関する研究 (3) タンパク質間相互作用による栄養物と異物の分子識別に関する研究	加藤 将夫 教授 中道 範隆 准教授 増尾 友佑 助教
薬物代謝安全性学 TEL:076-234-4408 E-mail:nmiki@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 創薬ならびに医薬品適正使用のための薬物代謝研究 (2) ノンコーディングRNAを利用した育薬研究 (3) 医薬品副作用の発症機序解明および予知予防研究	中島 美紀 教授 深見 達基 助教

金沢大学 所在地略図



角間キャンパス



問い合わせ先

金沢大学薬学学務係

〒920-1192 金沢市角間町

TEL (076) 234-6827, 6828 FAX (076) 234-6844